



上瀬谷小学校いじめ防止基本方針 ～子ども版～

いじめを防ぎ、だれもが安心できる学校にするための大切な考え方

「いじめ」ってなんだろう？

- ・だれかが行動したことで、された人が「悲しい」「いやだ」「つらい」と感じているもの
- ・いやなことを言われる、される、させられること。インターネットを通じてすることも同じです。
- ・いじめは重大な「人権侵害」で、大人でも子どもでも許されない行為です。

いじめを防ぐために大切なこと

～基本理念：いじめを「しない・させない・見逃さない・ためこまない」～

「か」...いやなことをしていないか、つらい思いをしている人はいないか「感じる心大切に」

「み」...お互いのちがいを認め合い、まわりの人、「みんなの心認め合い」

「せ」...「せいっぱい」考えよう

「や」...だれもが安心できる学校づくりを、大人も子どももみんなで「やってみよう」

子どもの役割

- ・いじめについて話し合い、いじめは身近な問題だと知り、考え続ける。
(クラス・学年・きらぼか班での話し合い、横浜こども会議など)
- ・お互いのちがいを認め、友達のよさに目を向けるといふ感じる心を大切に、みんなの心を認め合う。
(生活の中で、運営委員会が中心となった取り組みなど)
- ・「いやだ」「つらい」と感じたことはためこまないで相談する。
- ・つらい思いをしている人に気付いたら、声をかけたりだれかに相談したりする。
おうちの人・話しやすい先生・学校カウンセラーにいつでも相談しましょう。
相談しにくいときには...電話相談、LINE相談窓口を利用する、Study☆Naviの毎朝の健康観察や
年4回のアンケートに相談することもできます。

大人の役割

- 〈先生〉相談しやすい関係づくりを日ごろからつくる。
- ・だれもが安心できる学校になっているか毎月全員の先生で話し合い、点検する。
 - ・いじめを防ぐためにどうしたらいいかを子どもと一緒に考える。
 - ・お互いのちがいを認め、友達のよさに気付ける学習を行います。
- 〈おうちの人・地域の人〉
- ・子どもの話を聞く。
 - ・普段とちがう様子がないか、見守る。
 - ・必要なときには学校に相談する。

